

を運んでる蟻さんのお家をこわしては可愛さうだからよしませう」ミ早く言ひ度かつたのだが、一方こゝまではさせて見たいのである。徹底的破壊はやめさせて、その代り蟻十匹程を四角のガラス鉢に土と砂を入れた中へ、飼ふさい。ガラス鉢にそつてよく見える様に巢をこしらへて呉れるからこれによつて先のデレンマから救はれやう。因に普通の蟻はくろあり大くろあり大ありまれにあかありがある。

手 技

第五週

自由畫 景色の寫生 一回

幼稚園の庭木、山なごをこく簡單に畫けるだけ畫かせる。

椅子やクレヨンなごを庭に持ち出して畫くもよい。

幼稚園の附近の地圖 二回

誘導保育案による幼稚園附近の地圖は幼兒ミ共に話しあ

ひながらお隣りより順次黑板に本校、小學校、女學校、

そら豆の實

幼稚園の畑のだつたら一しよにつみ取つて（これが望ましいが）でなかつたらさやごごのを買つてくる。そしてむかせる。さやのまはり、中のビロードの様な肌ざわりは氣持がよい。お豆の形をみさせ、一つのさやの中の豆の数を銘々かぞへさせる（その爲一兒一つのさやにしてもよい）そして互に數を比較させる。この材料は簡単な數觀念の養成の方に重心を置く。

校門、電車道、市電大塚終點、大塚驛、大塚仲町交叉點、

護國寺なごの略圖を畫く（この圖を整理した）後にハトロ

ン紙なごに平面圖をかく。

粘土 自在 一回

製作 商店（誘導保育案による）二回

ボールの空箱にて商店をつくる（前週のつづき）今週は商品なごをつくる。

きせかへ人形 一回

幼児の教育三十四卷一月號 花子さん

頭髮は墨でぬらせ、下着の色、顔、手足を薄き色にぬらせる。

第六週

自由畫 自在 一回

ぬりゑ バラ 一回

バラの切花があれば至極結構そのバラの色に似た色にぬらせる。

製作 自動車、電車、消防署、四回

誘導保育案による町に走る自動車、電車及び大塚仲町にある消防署をつくる。

いづれもボールの空箱を利用してつくる都合よき空箱のなき場合にはボール紙にてつくる。

きせかへ人形 一回

前回それ／＼の色をぬりたるものを線の外側を切りぬかせる。前後二枚を切りぬかせて心にボールを入れて適當の厚さにして周圍を切りぬく

第七週

自由畫 花壇の寫生

草花の色ミりミりに咲けるのを幼児の好むまゝに寫生させる。

粘土 軍艦 一回

軍艦の寫真や繪なごを保育室にかけておく。主として幼児がつくるのであるが保姆にしても大體の軍艦の形なご簡單でよいらしつておく必要がある。

製作 人物、ビルディング、貨物自動車 三回

點景人物は粘土で作つてもよい又畫用紙で幾分立體的にあらはしてもよい。

ビルディングはボール紙で、貨物自動車はボールの空箱でつくる。

きせかへ人形 一回

人形花子さんの洋服をつくる(幼児の教育 第三十四卷

二三月號参照)

人形の身體に合せて洋服を幼児自身につくらせる前提として一二洋服の形を示すために、形を色のラシヤ紙なご

に謄寫したものを用ひて幼児にこのめる色をぬらせる。
人形を入れる箱はボールの空箱に千代紙、模造紙などに
て模様をつけてはり合せてつくる。

第八週

自由畫 ハトロン紙に毛筆 一回

ハトロン紙の全紙半分位の大きさの紙に毛筆にて大きく
自由畫をかゝせる。同時に二三人づゝの少人数にて靜か
にさせる。

缺仕事 ひなげし 一回

年少組の時にもこの材料があつたが年長組として以前よ
りも細かい表現を期待する。

ぬりゑ イトヒキアジ 一回

この魚の色少々複雑なれば、ぬりたるイトヒキアジを見
せてぬらせる。

製作 停留場、電柱、二回

停留場、電柱は畫用紙にてつくり、停留場名は幼児にカ
タカナにてかゝせる。

形は畫用紙を圓筒狀にして適當の色にぬらせ、これを立

たせるために下に粘土をつけて座りをよくする。

北信五縣保育大會

- 一、期日 昭和十一年五月十六日(土)十七日(日)
- 一、場所 富山市大正會館(舊城址内舊縣會議事堂)
- 一、主催 富山縣保育協會
- 一、後援 富山市日滿産業大博覽會
- 一、會費 壹 圓
- 一、會員 福井、石川、長野、新潟、富山五縣内幼稚
園、保育園及び通年託兒所の關係者

備考

- △研究發表は各縣二名宛といたし候
 - △意見交換の談話題御考へ下され度候
 - △講師は東京高等師範學校教授倉橋惣三先生に決定い
たし候
 - △汽車五割引券を發行の豫定に候
 - △宿舍は當方にて御世話いたすべく候
 - △詳細は後に更めて御案内申すべく候
- 詳細は富山市富山縣女子師範學校附屬小學校内富山縣保
育協會宛照會ありたし